

第4学年*組 体育科学習指導案

指導者 野口 恵太郎

1 単元名 「チームジャンプ！」（器械運動：跳び箱運動）

2 目 標

- 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。
(運動への関心・意欲・態度)
- 自己の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫できるようにする。
(運動についての思考・判断)
- 基本的な支持跳び越し技（切り返し系、回転系）に取り組み、それぞれの系について自己の能力に適した技ができるようになる。
(運動の技能)

3 指導にあたって（男子＊人、女子＊人、計＊人）

跳び箱運動は、「跳び箱」という障害物に対して、足と腕の交互ジャンプの形式で跳び箱に跳び上がったり、跳び下りたり、跳び越したりするなどの支持跳躍で、切り返し系と回転系の跳び方の跳躍運動である。また、技を身に付けたり、新しい技に挑戦したりするときに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。そのためには、児童が技を身に付ける喜びを味わうことができるよう、自己の技能の程度に応じた技を選べるよう助言したり、課題解決が容易にできるような場や補助具を準備したりするなどの教師の支援が重要になってくる。

本学級は、体育の授業を始め、運動に積極的に取り組む児童が多い。運動している児童の様子を見ると、自分の技能が向上した時に喜びを感じているような場面が多くみられる。その反面、技能的に不十分でも喜びを感じ、それ以上の練習に発展がない様子も見られる。また、友達との交流が少なく、意見やアドバイスをもらうなど、自分の技能の実態を知る場面も少ない。意識調査及び技能調査（平成＊年＊月＊日実施、第4学年＊人）の結果からは、自分の課題や解決方法を把握していない児童が多いということが分かった。

これらのことから、体育科学習指導において、友達との関わり合いの中で、運動の特性を理解しながら、考えたり、工夫したりすることを通して、自らの課題を解決していく資質を培う指導が重要であると考える。

そこで、本単元では、小グループを作り、友達同士が協同して学ぶことのできる場の工夫や、学習教材の充実を図る。技のできばえをグループで見合い、アドバイスをし合うことで、技の状態に「気づき」、課題解決を図ることができるようになる。また、演技者が課題を分かりやすく受け取り、いつでも振り返ることができるよう、アドバイスボードなどの教材の工夫を図っていく。

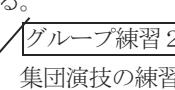
以上の協同的な学びの場と教材教具の工夫を通して、児童が自分の課題に気づき、課題解決に向けて思考することで、課題解決能力を育んでいきたい。

4 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none">① 技ができる楽しさや喜びに触れることができるよう、跳び箱運動に◎進んで取り組もうとしている。② 器機・器具の使い方や運動の行い方の決まりを守り、◎友達と励まし合って運動をしようとしている。③ ◎友達と協力して、器械・器具の準備や片付けをしようとしている。④ 運動する場や器械・器具の使い方などの安全を確かめようとしている。	<ul style="list-style-type: none">① 基本的な技の動き方や技のポイントを知るとともに、◎自分の力に合った課題を選んでいる。② 基本的な技の仕方を知るとともに、◎自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。	<p>① ◎自分の力に合った基本的な支持跳び越し技ができる。</p>

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（8時間計画）

段落	時間	学習のねらいと活動	評価計画		
			関	思	技
はじめ	1	<p>○運動の特性やねらい、計画、内容を理解する。 ○学習の方法や場を確認する。</p> <p>1 運動の特性やねらいを知る。 2 学習の進め方を知る。 3 ルールの確認をする。 4 用具の使い方や安全面についての配慮を知る。 5 できる技・できそうな技・挑戦したい技の確認をする。 6 グルーピングと役割分担を行う。 7 学習を振り返る。（学習カード） 8 整理運動、片づけをする。</p>	(3)	①	
なか 1 × 3	2	<p>○ロイター板の使い方や跳び箱運動の動きに慣れる。 ○技を見合い、よりよい技ができるよう、アドバイスをし合う。</p> <p>1 準備、整列、あいさつ、健康観察をする。 2 準備体操をする。 3 補助運動をする。 (馬跳び・ロイター跳び・跳び乗り下り・腕車・8の字跳び)</p>	①	①	
なか 2 × 3	3	<p>4 本時のねらいを確認する。 5 個人練習1 (自分にあった種目や段数を選び、練習を行う) 6 グループ練習1 (技を見合い、話合い活動やアドバイスボード等を利用して伝え合う)</p>	(2)	②	
なか 2 × 3	4	<p>6 本時の学習を振り返る。（学習カード） 7 整理運動、片付けをする。</p>		②	①
なか 2 × 3	5	<p>○自分の力に合った技の習熟度を上げる。 ○児童それぞれができる技を持ち寄りグループ演技の構成を考え、練習する。</p> <p>1 準備、整列、あいさつ、健康観察をする。 2 準備体操をする。 3 補助運動をする。</p>	(4)	①	
なか 2 × 3	6 (本時)	<p>(ロイター跳び・跳び乗り下り・8の字跳び・連続跳び)</p> <p>4 本時のねらいを確認する。 5 グループで演技の構成を考える。 6 個人練習2  児童それぞれが担当する技の習熟度を上げる。 ※個人練習2とグループ練習2をスパイラル形式で行っていく。</p>	(1)	②	
まとめ	8	<p>7 本時の学習を振り返る。（学習カード） 8 整理運動、片付けをする。</p> <p>○跳び箱シンクロ発表会 ○友達と協力してグループごとに集団演技を行い、鑑賞して楽しむ。</p> <p>1 準備、整列、あいさつ、健康観察をする。 2 準備体操をする。 3 発表会を行う。 4 本時の学習を振り返る。（学習カード） 5 整理運動、片づけをする。</p>		①	①

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- 器機・器具の使い方や運動の行い方の決まりを守り、◎友達と励まし合って運動をしようとしている。
(運動への関心・意欲・態度)
- 基本的な技の仕方を知るとともに、◎自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。
(運動についての思考・判断)

(2) 準備・資料

跳び箱、ロイター版、マット、エバーマット、ホワイトボード、マーカー、掲示資料、はね板、CDラジカセ

(3) 展開 (6 / 8)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 8分	<p>1 整列、挨拶、健康観察をする。 2 跳び箱の準備をする。 3 本時のねらいや学習の進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 発表会に向けて、グループ演技の練習をしよう。</div> <p>4 準備運動をする。 5 補助運動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服装の確認を行う。 ・安全に留意するよう十分に説明する。 	
なか 30分	<p>6 個人練習を行う。 ・個人で練習する。</p> <p>7 グループで集団演技の内容を確認する。 (1) 児童が担当する技を見合い、アドバイスをし合う。 (2) 集団演技の練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4段～6段までの練習場所から、選択し、アドバイスをもとに、練習するよう支援する。 ◇自分の課題が分からぬ児童に声をかけ、前時までのアドバイスボードや掲示資料等を使いながら、確認するよう助言する。 ・同じ練習場所を選択した児童同士でアドバイスし合うよう、声をかける。 ・前時の練習での技の出来栄えを全体で確認し、内容を決めるよう助言する。 ・自分が行う技を確認するよう伝える。 ・グループ全体の難易度を考えて、段数を決めるよう支援する。 ◇集団での演技に戸惑っている児童には、声をかけ、場合によっては補助を行う。 	<p>〈思考・判断②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技の仕方を知るとともに、◎<u>自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。</u> (観察) <p>〈態度②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器機・器具の使い方や運動の行い方の決まりを守り、◎<u>友達と励まし合って運動をしようとしている。</u> (学習カード・観察)
まとめ 7分	<p>8 整理運動、片づけをする。</p> <p>9 本時の学習を振り返る。 ・学習カードに記入する。</p> <p>10 整列・あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・けががないか、確認しながら運動するよう伝える。 ・安全に留意して片づけるよう、声かけを行なながら、見回る。 ・適切な技や段数を考えて練習していたグループを取り上げて称賛する。 ・次時の予告をし、期待をもつことができるよう話す。 	

◇は努力を要する状況にある児童への手立て